

**東京 2020 およびコロナ禍による  
物流・サプライチェーンへの影響  
アンケート調査結果**

2021年11月22日

 公益社団法人  
**日本ロジスティクス システム協会**  
*JAPAN INSTITUTE OF LOGISTICS SYSTEMS*

**会員・広報委員会**

## 目 次

アンケート調査概要 .....	1
アンケート調査結果 .....	3
1. 組織 .....	3
2. 物流／ロジスティクス／SCM部門の概況 .....	4
3. BCP①（コロナ禍の影響） .....	5
4. BCP②（東京大会 2020 の影響） .....	10
5. TDM .....	12
6. BCPのレベルアップ／自由意見 .....	13

# アンケート調査概要

## ■調査目的・背景

新型コロナウイルス（COVID-19）の地球規模での感染拡大およびその長期化は、物流およびサプライチェーン面でも大きな影響を及ぼし、変化への対応が求められた。また開催が延期となった東京オリンピック・パラリンピック競技大会（以下、東京 2020 大会）においても、東京圏の広域における一般交通について、大会前の交通量の 10～30%減が目標とされ、円滑な大会輸送と経済活動維持との両立を図ることを求められた。

物流およびサプライチェーンにおいて、2つの大きなトピックが重なった今年、J I L S 会員・広報委員会では、各社の取り組み状況等について情報共有するとともに、今後の B C P を検討するうえでの一助とするため、アンケート調査を実施した。

## ■調査方法

メール案内、WEB 回答方式

## ■調査期間

2021 年 9 月 24 日（金）～2021 年 10 月 15 日（金）

## ■調査対象・回答状況

調査対象：JILS 会員企業 荷主企業の会員登録者（連絡者）：310 名

回収状況：有効回答社数 77 社（回答率 24.8%）

※有効回答の定義

本調査では、回答者情報：業種、会社名、所属・役職、氏名、メールアドレスのいずれかに記入のあった回答を有効回答とし集計対象とした。

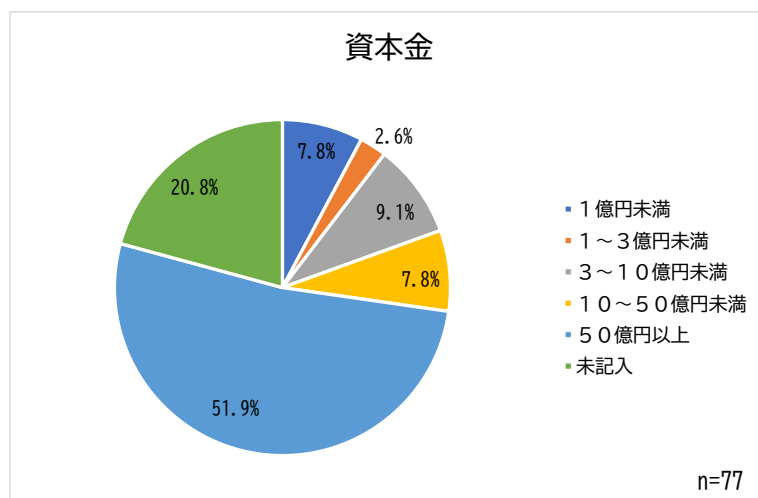
## ■回答者の属性

### 【回答者所属企業の業種】

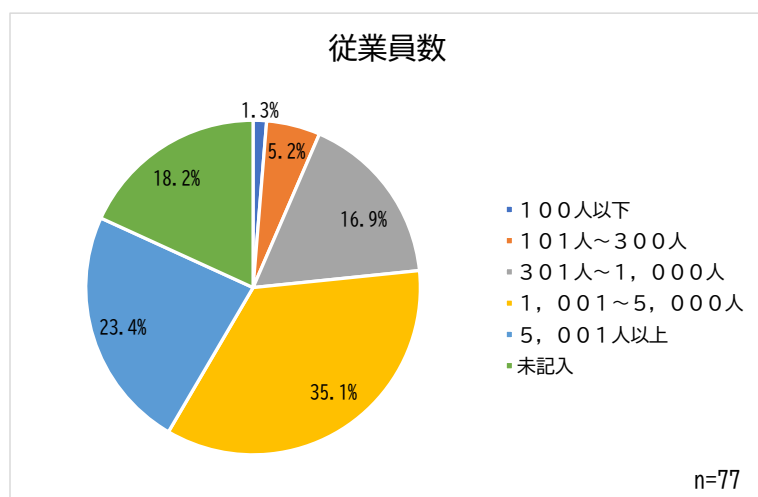
業種	有効回答社数	構成比
合計	77	100%
①製造業	62	80.5%
②流通業	11	14.3%
③その他荷主	4	5.2%

## 【回答者所属企業の資本金・従業員数分布】

### ・ 資本金



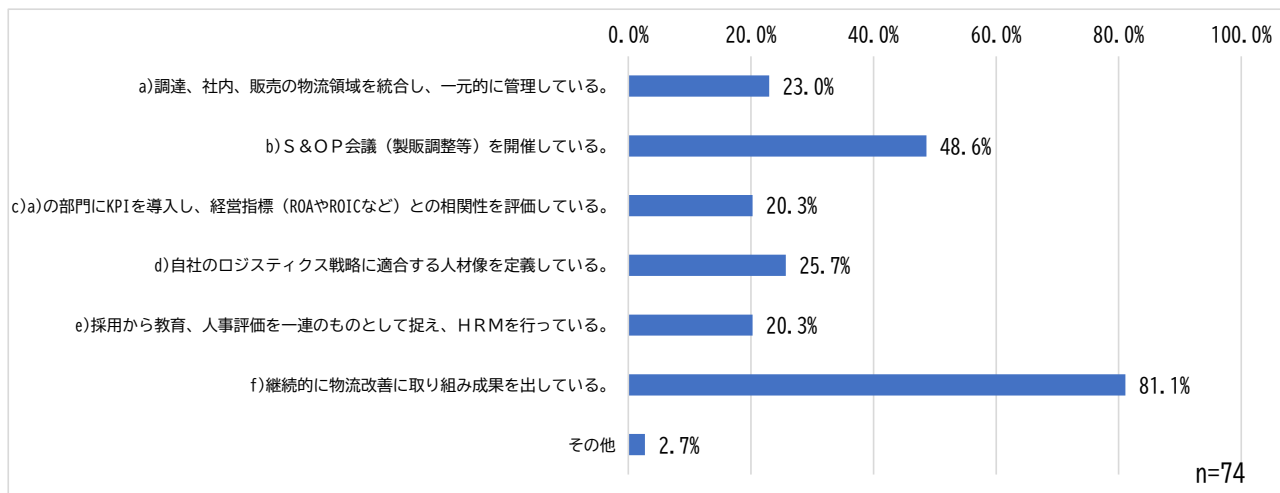
### ・ 従業員数



# アンケート調査結果

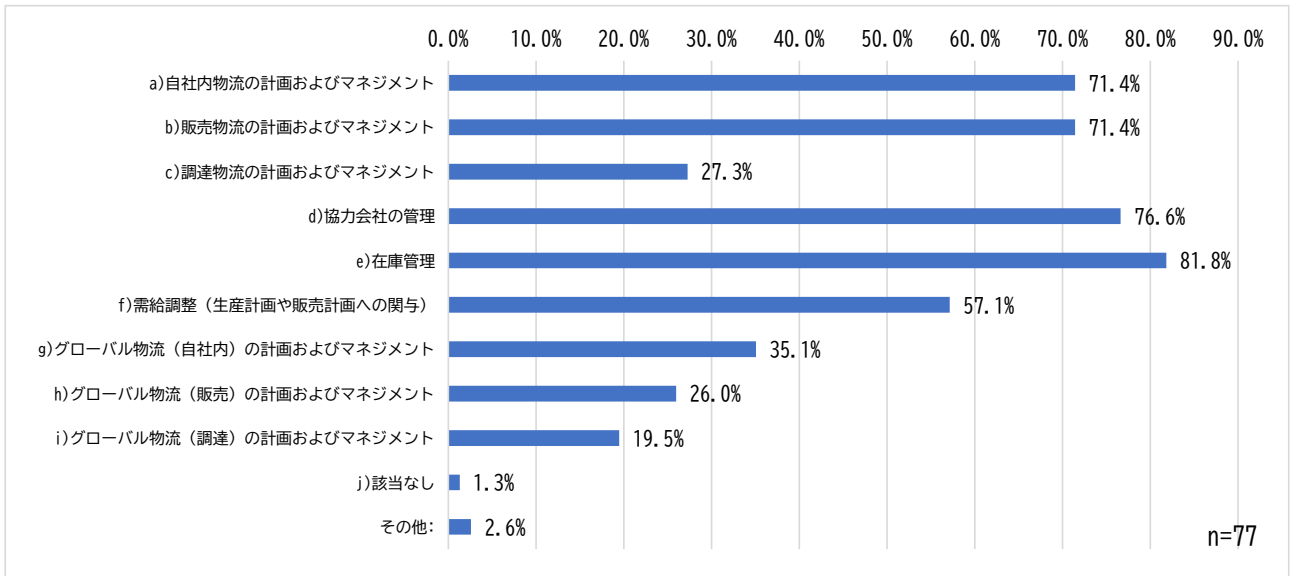
## 1. 組織

Q-1：貴社の社内各部門（機能）の「統合度合い」などについてお聞かせください。（あてはまるものすべて）

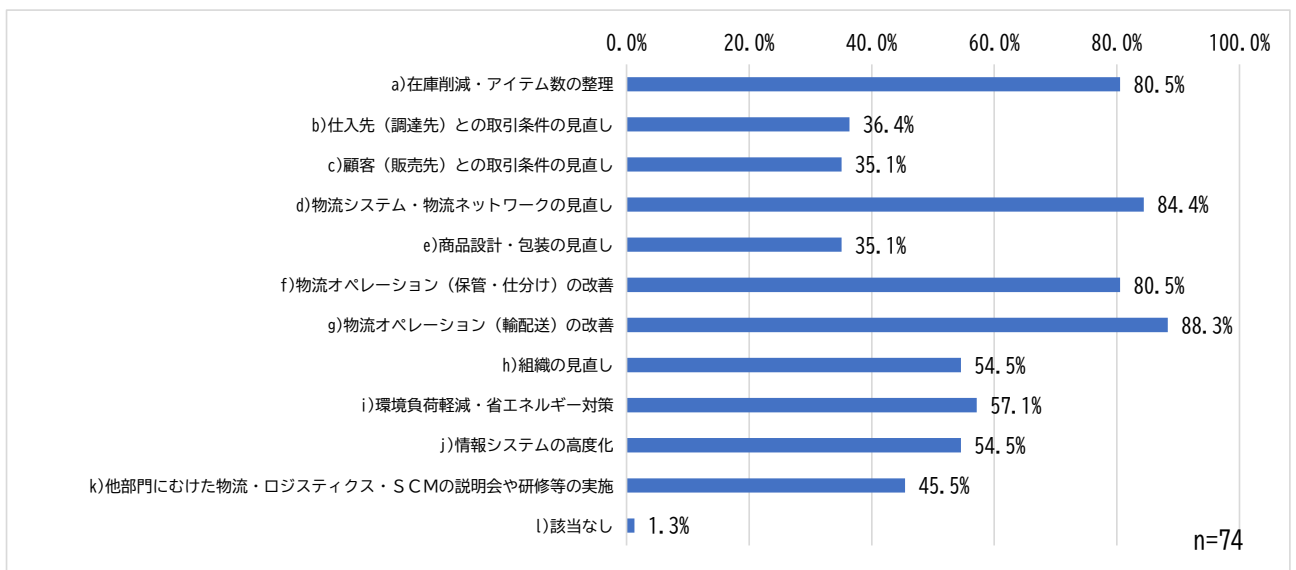


## 2. 物流／ロジスティクス／SCM部門の概況

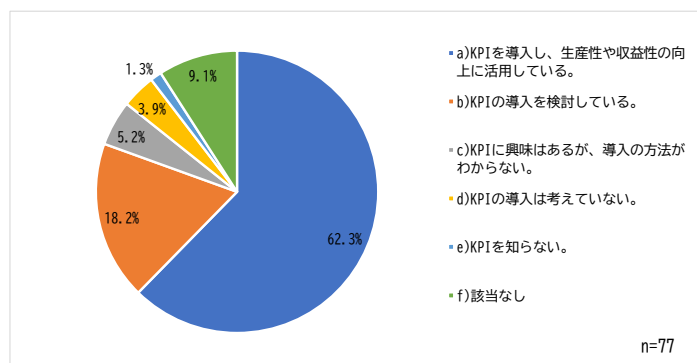
Q2-1：物流／ロジスティクス／SCM部門の業務範囲に含まれるものをお答えください。（あてはまるものすべて）



Q2-2：物流／ロジスティクス／SCM部門において、これまでに取り組みられている施策をお聞かせください。（あてはまるものすべて）

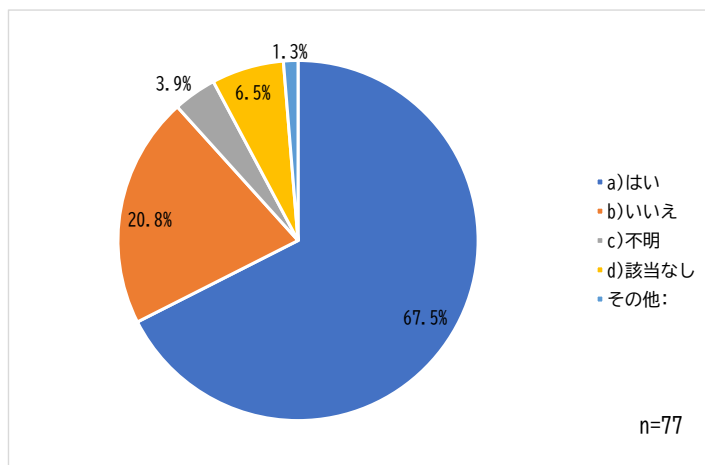


Q2-3：物流／ロジスティクス／SCM部門における、KPI（key performance indicator）の活用状況をお聞かせください。（あてはまるもの1つ）

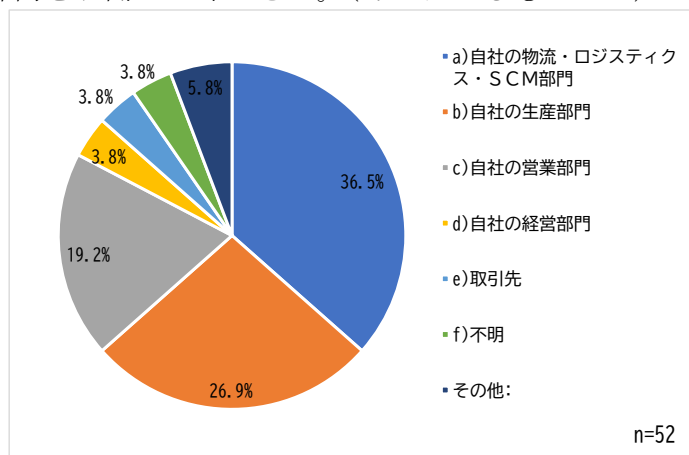


### 3. BCP①（コロナ禍の影響）

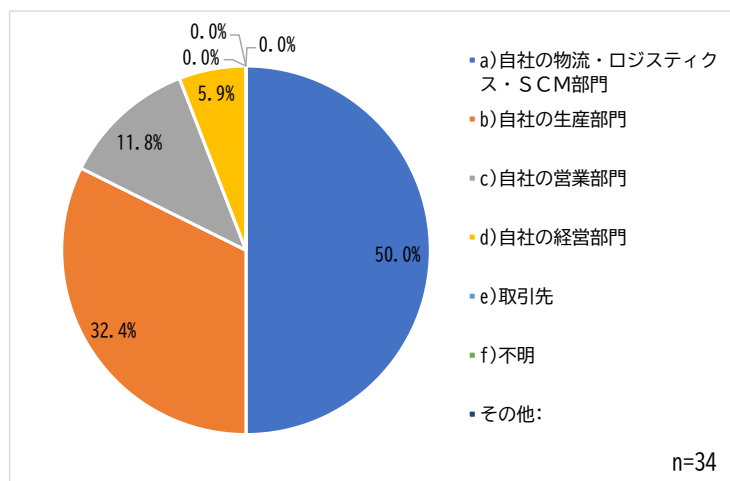
Q3-1-1：コロナ禍の影響により、当初予定されていた2020年度の生産（もしくは仕入れ）計画を変更しましたか？（あてはまるもの1つ）



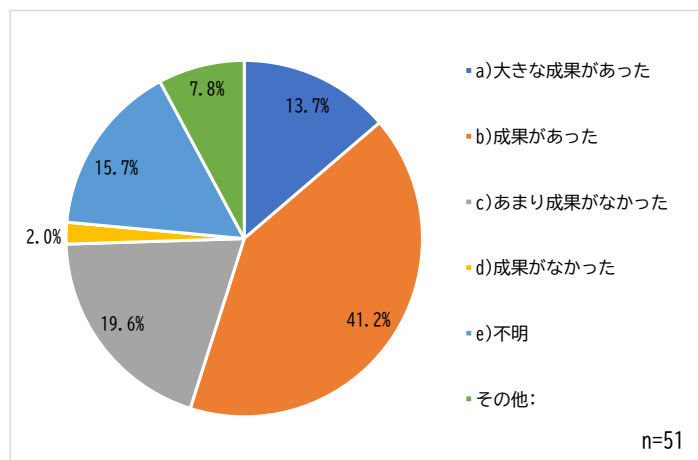
Q3-1-2：3-1-1.にて、生産（もしくは仕入れ）計画を変更した企業におたずねいたします。活動を主導した部門をお聞かせください。（あてはまるもの1つ）



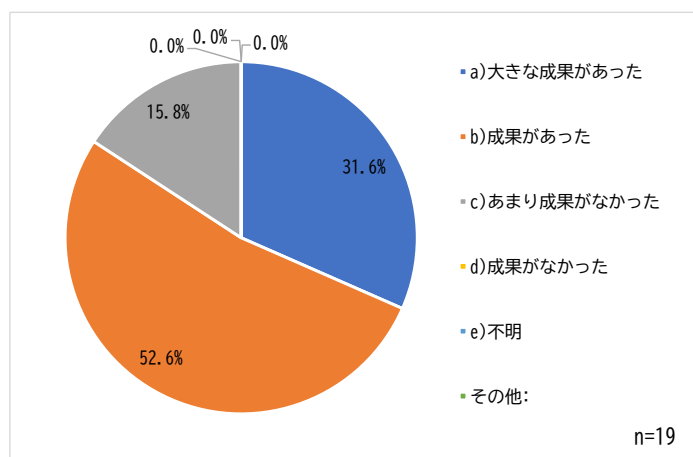
※参考：Q-1 社内各部門（機能）の「統合度合い」について、  
 a) 調達、社内、販売の物流領域を統合し、一元的に管理している。  
 b) S & O P 会議（製販調整等）を開催している。  
 と回答した企業による、主導した部門の回答



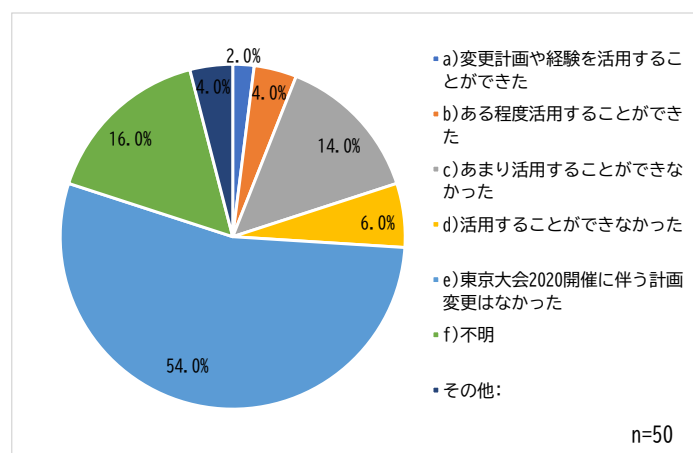
Q3-1-3 : 3-1-1.にて、生産（もしくは仕入れ）計画を変更した企業におたずねいたします。  
 その結果、成果（コスト削減や物流品質の維持・向上、工数削減や売上の維持・向上など）  
 はありましたか。（あてはまるもの1つ）



※参考：Q3-1-2 : 3-1-1.にて、主導した部門が、  
 a) 自社の物流・ロジスティクス・SCM部門  
 と回答した企業による、成果についての回答

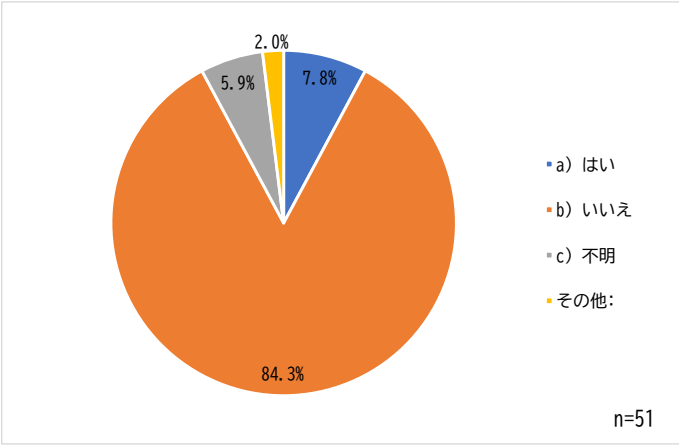


Q3-1-4 : 3-1-1.にて、生産（もしくは仕入れ）計画を変更した企業におたずねいたします。  
 コロナ禍において策定していた生産の変更計画について、その後の東京大会 2020（2021年  
 8月～9月開催）における活用度をお聞かせください。（あてはまるもの1つ）

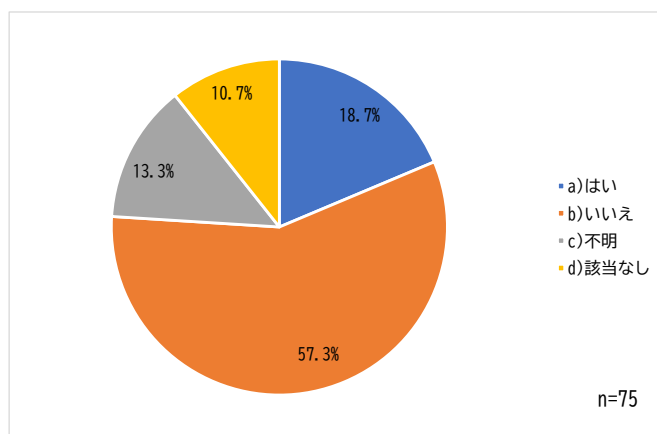




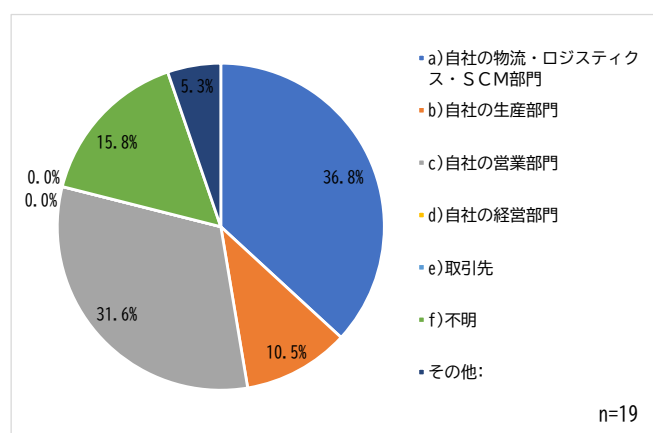
Q3-1-5 : 3-1-1.にて、生産（もしくは仕入れ）計画を変更した企業におたずねいたします。  
コロナ禍において行った生産の変更は、それ以前から計画されていたものですか？（あてはまるもの1つ）



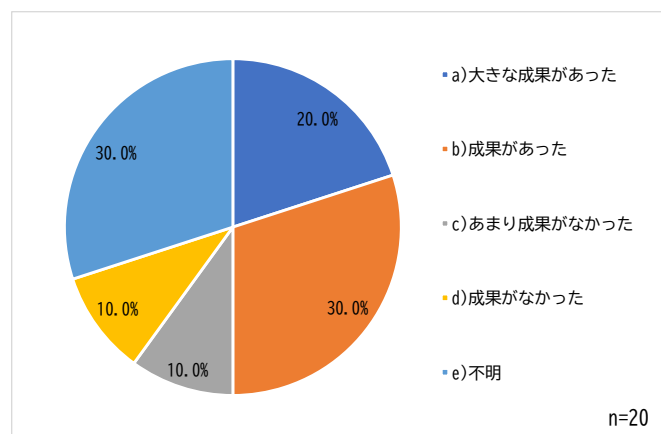
Q3-2-1：コロナ禍の影響により、顧客との取引条件の変更に取り組まれましたか？（あてはまるもの1つ）



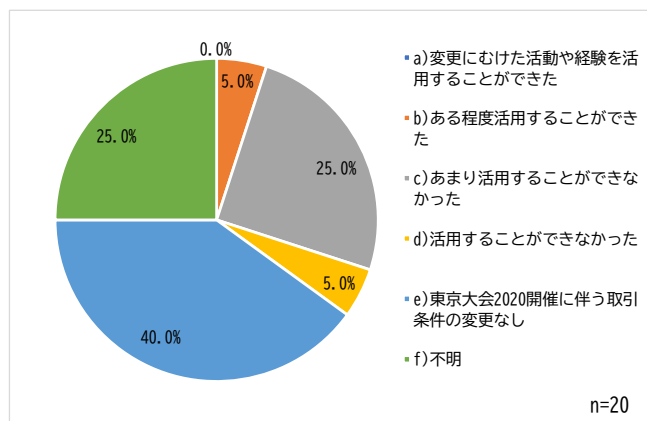
Q3-2-2：3-2-1.にて、顧客との取引条件の変更に取り組まれた企業におたずねいたします。活動を主導した部門をお聞かせください。（あてはまるもの1つ）



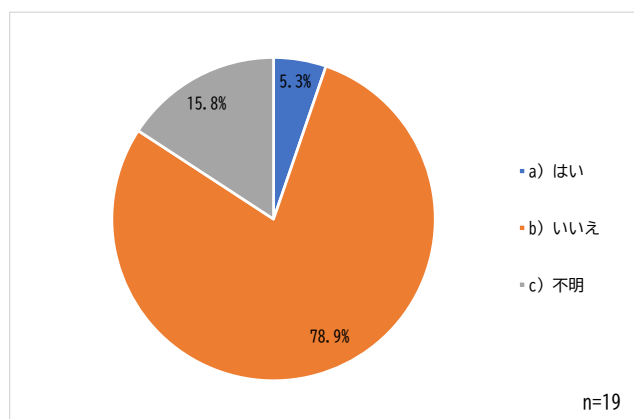
Q3-2-3：3-2-1.にて、顧客との取引条件の変更に取り組まれた企業におたずねいたします。その結果、成果（コスト削減や物流品質の維持・向上、工数削減や売上の維持・向上など）はありましたか。（あてはまるもの1つ）



Q3-2-4：3-2-1.にて、顧客との取引条件の変更に取り組まれた企業におたずねいたします。  
 コロナ禍において取り組まれた顧客との取引条件の変更について、その後の東京大会 2020  
 (2021年8月～9月開催) における活用度をお聞かせください。(あてはまるもの1つ)

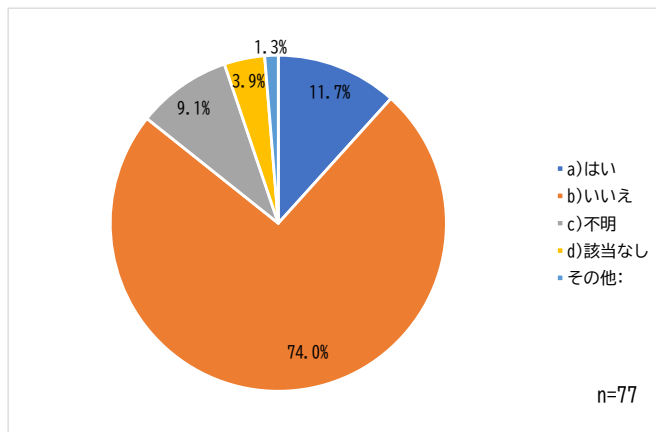


Q3-2-5：3-2-1.にて、顧客との取引条件の変更に取り組まれた企業におたずねいたします。  
 コロナ禍において取り組まれた顧客との取引条件の変更は、それ以前から計画されていた  
 ものですか？(あてはまるもの1つ)

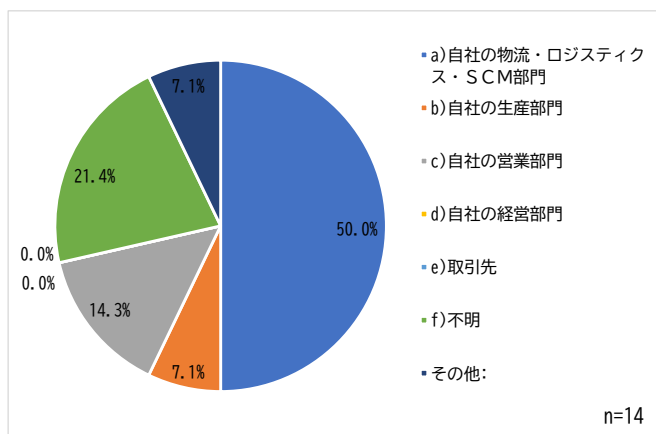


#### 4. BCP②（東京大会 2020 の影響）

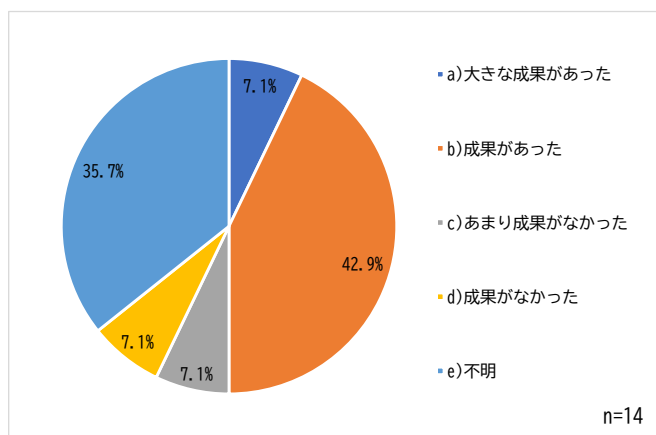
Q4-1-1：2021年に開催された東京大会2020に向けて、当初予定されていた2021年度の生産（もしくは仕入れ）計画を変更しましたか？（あてはまるもの1つ）



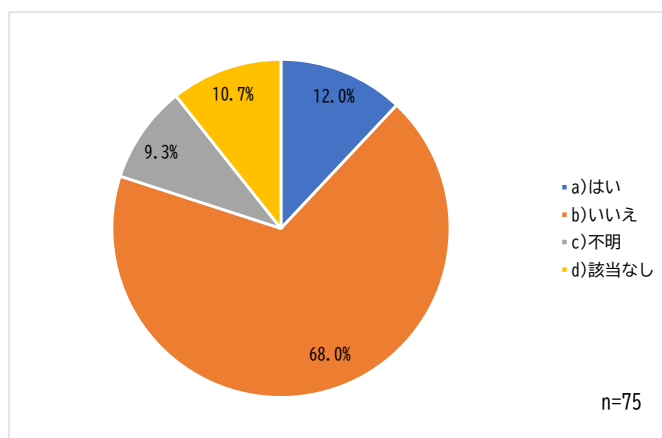
Q4-1-2：4-1-1.にて、生産（もしくは仕入れ）計画を変更した企業におたずねいたします。活動を主導した部門をお聞かせください。（あてはまるもの1つ）



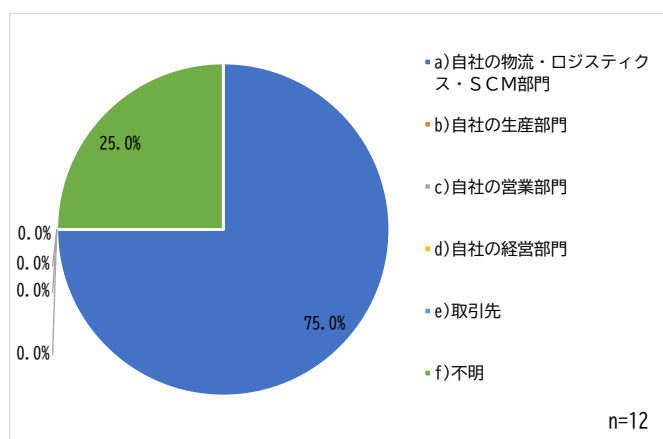
Q4-1-3：4-1-1.にて、生産（もしくは仕入れ）計画を変更した企業におたずねいたします。その結果、成果（コスト削減や物流品質の維持・向上、工数削減や売上の維持・向上など）はありましたか。（あてはまるもの1つ）



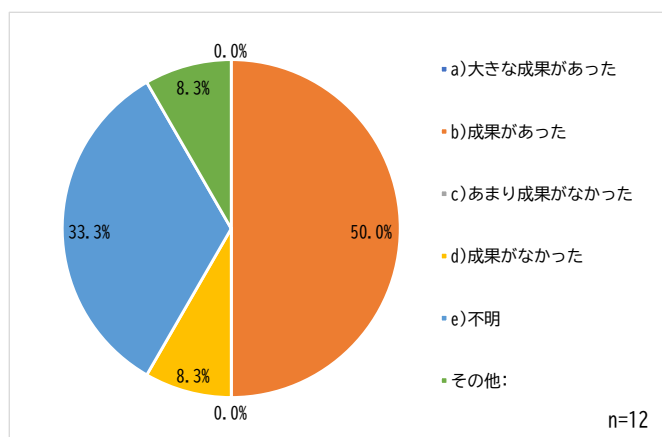
Q4-2-1：2021年に開催された東京大会2020に向けて、顧客との取引条件の変更に取り組まれましたか？（あてはまるもの1つ）



Q4-2-2：4-2-1.にて、顧客との取引条件の変更に取り組まれた企業におたずねいたします。活動を主導した部門をお聞かせください。（あてはまるもの1つ）

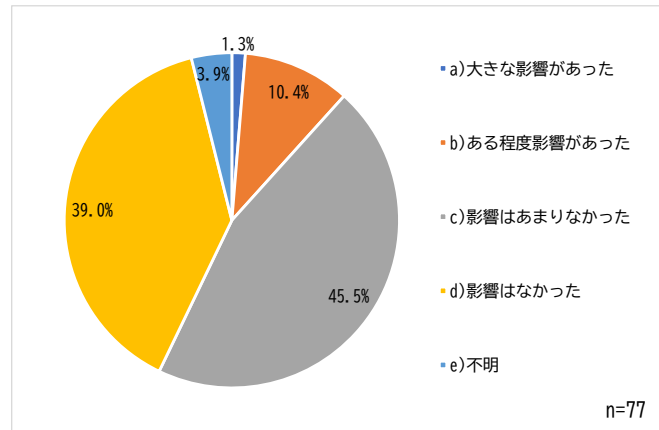


Q4-2-3：4-2-1.にて、顧客との取引条件の変更に取り組まれた企業におたずねいたします。その結果、成果（コスト削減や物流品質の維持・向上、工数削減や売上の維持・向上など）はありましたか。（あてはまるもの1つ）



## 5. TDM

Q5-1：東京大会 2020 開催期間において、貴社の物流面に影響がありましたか？（あてはまるもの1つ）



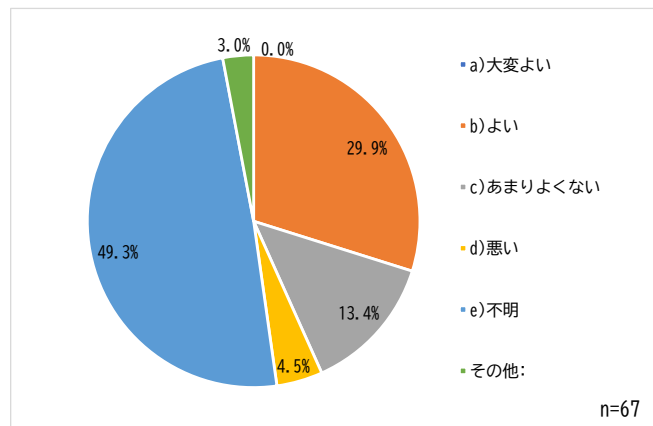
Q5-2：Q5-1 で、影響があったとお答えいただいた企業（a）、b)に回答）におたずねいたします。影響の具体的な内容と、とられた対策について、お聞かせください。

（以下自由記入回答）

- ・リードタイムの緩和 時間指定約束不可
- ・延着・遅配の可能性について、納品先への事前案内
- ・輸配送遅延による納期遅れ回避のため、顧客からの受注締め時間を早めた。
- ・顧客への納品時間の緩和
- ・対象エリアでの製品の早出し及び特便対応
- ・配送時間の事前打ち合わせ
- ・リードタイムの延長
- ・交通規制で1車両で配達できる件数が減るので、その分増車対応をした。
- ・規制期間内の納品を避け前倒しで行った
- ・影響)納品時間の遅れ 対策)出荷時間の前倒しと渋滞情報の取得
- ・幸い、影響はありませんでしたが、オリンピック開催による交通渋滞に対しては対策を立案し、社内共有しながら進めております。

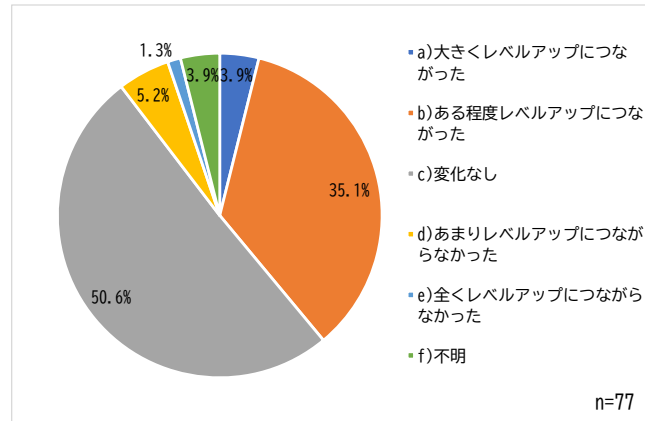
Q5-3：東京大会 2020 における交通混雑緩和対策全体について、評価をお聞かせください。

（あてはまるもの1つ）



## 6. BCPのレベルアップ／自由意見

Q6-1：物流／ロジスティクス／SCM分野におけるコロナ禍対策および東京大会 2020 対策は、貴社のBCPのレベルアップにつながったと思われますか？（あてはまるもの1つ）



Q6-2：物流／ロジスティクス／SCM分野におけるコロナ禍対策および東京大会 2020 対策について、ご意見等お聞かせください。（自由記入）

- ・受注・受給業務のリモート化が多少でも進んだ点は意味があったと思います。
- ・当初はオリンピックによる仮需が起こり、物流面において非常に混雑や混乱が予測されていたが、コロナ禍により酒類業界は仮需どころか大打撃を受けた。納品リードタイム延長を一部エリアで了承頂けたのが唯一の成果であった。
- ・当社は特に影響を受けておりません。
- ・物流利用者側にたった視点がほぼなく、自分たちで対応してほしいという丸投げで、東京大会 2020 側のためにムダな規制強化されただけに等しい対策内容だった。
- ・コロナにより省人化への取り組みを強化する事に繋がったと思いますが、物流会社のような現場を持っている会社に対しては何かしらのガイドラインが必要では無いですでしょうか？
- ・東京オリンピックは規模がかなり縮小されたため大きな影響なく対応できたが、本来の規模であれば何かしらの対策は必須だったと考えます。”
- ・顧客との納品条件などの見直しは常に行われているもので TOKYO2020 大会やコロナとは無関係に行われているもの
- ・コロナは当初の急激な物流増に対応するので、便の確保が課題となった。その後は市場が安定化したため、通常とおり。東京大会は静かであり、首都高の規制(通行料金のアップは必要)は必要なかったものと思われる。
- ・緊急事態宣言等による市況の変化への需給対応を製販物での連携がポイント
- ・物流拠点となる京浜港や成田空港の代替となる路線が拡充されなかったのが選択肢とならず、やむを得ず京浜港と成田空港の利用を続けました。結果的に観客動員が見送られたりしたので影響を受けずに済みましたが、実際に観客を入れたり交通規制が入ったりしたら大混乱だったと思います。
- ・COVID-19 は ASEAN はじめグローバルでは未だ対応中。
- ・東京大会 2020 対策(国内首都圏対応)は、備えていたが、全く影響無く終わった。
- ・コロナ禍にて市販用製品の需要は大きく伸ばしたものの、対応出来ず販売チャンスのロスとなった。しかしながらあのような突発的な出来事のためだけに製造キャパを拡大させるわ

けにはいかないが、有事の際の製造銘柄の集約や各販売先への数量割り振りなどに関する知見は得られた。

- ・コロナ禍による物流への影響はあまりなかったと考えており、東京大会 2020 は 2019 年時の想定よりも影響が少なかったのではないかと感じている。
- ・コロナ禍対策としてテレワーク化、ペーパーレス化などの各社で取り組みが進んだと思われる。東京大会 2020 対策では何がレガシーとなったのか総括し、今後の物流対策に活かして欲しい。
- ・コロナ過でも止める事の出来ない物流について、対策の難しさを痛感しました。
- ・世界的な視野で捉えればコロナ影響は生産計画の大幅見直しやコンテナ物流の混乱影響による物流混乱など事業場の影響は甚大で SCM 部門としては最大限の調整不努力で影響の多少なりとも緩和に貢献するレベルに留まる。2020 対応は時間的な余裕もあり代替ルート等の事前取り決めなどを定めたが結果論大きな影響は発生しなかった。いずれにせよ弊社の BCP 意識向上には繋がってはいる。
- ・共通意識を高める効果はあったと思う。
- ・コロナ禍で、想定しない事案が断続的に発生している。不確実な社会の中で、製販在の柔軟かつスピーディーな調整とそれを確実にするデジタル化がより重要である事を強く認識した。社内的にも社会的にも周知の事実となったと感じている。
- ・物流は社会インフラであるが、昨今の国際物流状況と運賃高騰はマーケット力学によりアンコントロールの状況で、一部にモラルハザード的値上げ様相も存在する。社会的取組でのインフラの維持にも期待する。”
- ・コロナ禍対策という意味では、今回特に家庭用については、需要が伸び、過去にない出荷状況となり、倉庫や冷蔵庫、運送会社に多大なる協力をいただいた、今後同様のケースが発生するかは不明だが、ある程度予測値を捻出できるデータは蓄えたと思っている。オリパラについては、無観客開催だったこともあり、首都圏大規模大会時の配送などの指標にはなり得てない。
- ・東京オリンピックは、コロナ禍の運営で大幅に規制をかけての開催だった為、物流影響なく対応対応することができました。

以上